

当協会支援先「株式会社あしだ」芦田拓弘氏が 第5回「アトツギ甲子園」で経済産業大臣賞を受賞

京都信用保証協会（理事長：山内 修一）が関係機関と共催する事業承継セミナーの参加者、株式会社あしだ（京都府南丹市）の芦田拓弘氏が令和7年2月20日、中小企業庁主催の第5回「アトツギ甲子園」決勝大会が東京都千代田区の手町プレイスホール&カンファレンスで開催され、最優秀賞である「経済産業大臣賞」を受賞されました。また、同賞受賞者の支援者として当協会職員も、「ベストサポーター賞」を受賞しました。

なお、当協会の支援による経済産業大臣賞輩出は、第4回大会に引き続き2年連続2度目となります。

「アトツギ甲子園」とは、全国の中小企業の後継者・後継者候補が既存の経営資源を生かした新事業アイデアを競うピッチイベントで、5回目となる今回は、全国から189名の後継者がエントリーし、6か所の地方大会を勝ち進んだ18名が決勝大会に出場しました。

芦田氏は、「林業のサプライチェーン革命！日本経済を変える木材流通システム」と題した新事業プランを披露。林業のサプライチェーンをプラットフォーム化することで、木材流通の円滑化を促す画期的なシステムとして、林業全体の課題解決から日本経済の活性化に繋がる点が評価されました。

当協会では、事業承継は、「後継者が新たなビジネスモデルを創出しながら承継する取組み」と捉え、京都府内地域ごと（京都府北部地域、中部地域、市域、南部地域）に自治体や金融機関、支援機関等と連携を図り、地域に寄り添った後継者支援を実施しています。

芦田氏は、「京都アトツギゼミ2024」（京都市域）や「京都府中部アトツギベンチャーセミナー」（京都府中部地域）の参加を契機に「アトツギ甲子園」の出場を決意。当協会は、京都アトツギゼミを共催する一般社団法人京都知恵産業創造の森と連携の下、芦田氏の新事業プランの磨き上げに支援したところです。

また、決勝大会前には、一般社団法人京都知恵産業創造の森とともに、自治体や中小企業支援機関、商工団体、地域金融機関等と連携を図り、「リハーサル」を実施するなど、「地域を担う後継者の成長が地域の発展に寄与する」といった共通認識のもと、地域で後継者支援のエコシステムを構築しています。

当協会は、今後も京都府内中小企業者の後継者・後継者候補の挑戦を後押しし、地域経済発展に寄与してまいります。

受賞先の概要

企業名	株式会社あしだ
代表者	代表取締役 芦田 竜一
所在地	京都府南丹市日吉町胡麻下道26
設立	平成5年10月8日

